

化石研 ニュース

No.125 2016/03/22

編集・発行:化石研究会事務局

〒370-2345 群馬県富岡市上黒岩1674-1
群馬県立自然史博物館 高桑祐司気付

第34回化石研究会 総会・学術大会 の御案内

第34回化石研究会総会・学術大会（通算145回）を、下記日程で開催いたします。
今回の会場は、「都の西北・・・」で知られる早稲田大学・早稲田キャンパスです。
会員の皆様の参加をお待ちしています。ふるってご参加ください。

- 日時：2016年6月11日（土）・12日（日）
- 会場：早稲田大学・早稲田キャンパス11号館（東京都新宿区西早稲田1-6-1）
[世話人：平山 廉 会員（早稲田大学国際教養学部）]
- 参加費：無料
- 概 容：
6月11日（土） 13:00～18:00（予定）

シンポジウム「カメ類の起源と進化を考える」（一般公開）

講 演：13:00～13:10 平山 廉（早稲田大学）

「趣旨説明」

13:10～13:50 倉谷 滋（理化学研究所）

「カメを作った発生プログラムの進化」

13:50～14:30 平山 廉

「化石記録から見えてきたカメ類の起源」

14:30～15:05 吉田将崇（東京大学大学院）

「化石曲頸類の多様性とカメ類の海生適応」

（休憩 15:05～15:20）

15:20～15:55 高橋亮雄（岡山理科大学）

「琉球列島の更新世カメ類化石が示す大量絶滅と動物地理」

15:55～16:30 中島保寿（東京大学）

「カメの進化と四肢骨の微小解剖学」

16:30～17:00 総合討論

17:00～18:00 11号館研究室で化石および現生カメ類の観察会

懇親会：6月11日（土） 18：30～



事前申し込みが必要です（締切 5月8日、詳細は3ページ参照）。
会場は大学構内を予定しています。

6月12日（日） 9：00～17：00（予定）

一般講演（口頭発表／一般公開）・・・午前・午後

事前申し込みが必要（本ページ下半部～次ページ参照）

一般講演（ポスター発表／一般公開）・・・午後

事前申し込みが必要（本ページ下半部～次ページ参照）

総会議事（会員のみ）・・・11:00～11:45（予定）

会 場：早稲田大学早稲田キャンパス内（詳しくは次号でお知らせします）

一般講演（口頭・ポスター）の募集

第34回総会・学術大会の二日目（6／12）に実施する一般講演（口頭・ポスター）を募集いたします。以下の要領でお申し込みください。また、その他に発表等の展示物などの希望をお持ちの方がおられましたら、事務局までご相談ください。講演予定者で、会からの派遣申請が必要の場合は、申込の際にその旨を連絡してください。

<一般講演（口頭・ポスター）をご希望の方>

講演申込（講演要旨送付） 5月2日（月）締切

申込方法：電子メールもしくはFAX（0274-60-1250／化石研究会 高桑宛て）に、

1. 講演者名、2. 所属、連絡先、3. 演題名、4. 口頭・ポスターの区分を明記して、講演要旨を添付のうえお送りください。口頭発表でMacを使用する際にはその旨も明記してください。メール・FAXともに使用できない場合は、郵便にて上記内容を事務局（次ページ参照）までご連絡ください。

講演要旨の書式：一般講演の要旨はA4サイズ（縦）1枚に演題14ポイント、発表者名11ポイント、本文10.5ポイントとし、本文1300文字程度としてください。

一般講演の機材等について：

- ・一般講演（口頭）は、講演15分、質問5分を想定していますが、申込人数により若干前後する可能性があります。
- ・一般講演（口頭）には、Windowsパワーポイント搭載パソコンを用意します。Macユーザーの方はご自身のマシンをお持ちいただくことをお勧めします。
- ・一般講演（ポスター）には、掲示用ボード、画びょうを準備する予定です。

一般講演の申込（講演要旨送付）先

〒370-2345 群馬県富岡市上黒岩 1 6 7 4 - 1

群馬県立自然史博物館 高桑祐司気付

化石研究会事務局 宛

メールアドレス：BXJ04105@nifty.ne.jp

※ 一般講演の演題などについては、後日HPならびにニュース次号でご案内いたします。

懇親会（6/11 18:30~）の申込みについて

事前申込みが必要となります（締切 5/8）!!



参加費 ¥4000（一名／予定）

[会場：大学構内（予定）]

電子メール（or FAX）か、郵便にて事務局宛にお申し込みください。

〒370-2345 群馬県富岡市上黒岩 1 6 7 4 - 1

群馬県立自然史博物館 高桑祐司気付 化石研究会事務局 宛

メールアドレス：BXJ04105@nifty.ne.jp

FAX：0274-60-1250（化石研究会 高桑宛と明記してください）

締切厳守 でお願いいたします。

運営委員会の開催について

総会・学術大会にあわせ、下記日程で運営委員会を開催します。

役員の方につきましては出席をお願いいたします。

日時：6月11日（土）11：00～12：30（予定）

会場：早稲田大学早稲田キャンパス 11号館

※ 詳細につきましては、別途メールで連絡いたします。

早稲田大学・早稲田キャンパスへのアクセス

公共交通・・・公共交通機関を利用してお越しください。

- JR山手線／西武新宿線・・・・・・・・・・高田馬場駅で下車、徒歩20分
- 地下鉄（東京メトロ）東西線・・・・・・・・・・早稲田駅で下車、徒歩5分
- 地下鉄（東京メトロ）副都心線・・・・・・・・・・西早稲田駅で下車、徒歩17分
- 都バス（学02 高田馬場駅～早大正門）・・早大正門（終点）で下車
- 都電荒川線・・・・・・・・・・・・・・・・・・早稲田駅で下車、徒歩5分

※ 宿泊施設・昼食について

- 今回は、宿泊施設のあっせんはございません。
- 昼食につきましても、大学周辺に多くのレストラン、コンビニエンスストア、お弁当屋さんがありますので、あっせんはございません。

※ 早稲田キャンパスの構内地図



早稲田大学 HP (<https://www.waseda.jp/top/access/waseda-campus>) より

>>> 第144回例会報告 <<<

去る2015年11月14日と15日に、化石研究会第144回例会が福島県喜多方市の喜多方市カイギウランドたかさとで開催された。「日本の海棲哺乳類化石」と題された今回のシンポジウムでは、2日間にわたり、講演と展示解説計6件、加えて小巡検が行われた。



参加者は72名(2日間で延べ109名)に上り、地元の喜多方市や福島県内・県外の方など化石研究会会員以外の参加者も多く、高郷の化石・日本の海棲哺乳類化石への関心の高さが見てとれた。佐藤智子氏・岸真一氏・佐藤勝氏による講演「会津高郷の化石の歴史と研究グループの活動」では、主に高郷の海棲哺乳類化石に関する研究史と地元有志の長年の貢献が紹介された。犬塚則久氏による講演「クジラとカイギウのからだ・名前・つくり・進化のはなし」は、鯨類と海牛の解剖学的な相違を中心とした演題に即したものであった。初日のシンポジウムの最後には、名取和香子氏による館内の高郷産化石に関する展示解説が行われた。シンポジウムの休憩時間には、参加者は館内の展示や荻野慎諧氏の手による3Dプリンターで作成された恐竜などの骨格模型を肴に議論を闘わせていた。初日のシンポジウム後は、参加者は市内にある「ふれあいランド高郷」に移動して温泉に浸かり、懇親会では地元の蕎麦に舌鼓を鳴らした。シンポジウム同様に、懇親会には多くの非会員が参加しており、会員・非会員の別なく盛り上がっていたのが印象的であった。



シンポジウム2日目の田辺智隆氏による講演「戸隠(長野県)の海棲哺乳類化石と博物館活動」では、戸隠の化石と平賀源内の意外な関係など話のネタになるような面白い話や地方博物館の活動状況が語られた。長澤一雄氏による講演「東北地域の海棲哺乳類化石」では、東北地方だけでなく北陸地方の海棲哺乳類化石についても概要が語られた。両地域が含まれる海棲哺乳類研究のポテンシャルは高く、今後の研究の進展が待たれる。小林昭二氏による展示解説では、タカサトカイギウ(*Dusisiren takasatensis*)の実物化石が特別に公開され、標本を間近に見ながら海牛類の進化の詳細について知ることができた。



2日目午後はタカサトカイギウや鯨類化石が産出した阿賀川沿いの塩坪層の巡検が行われた。当日に新たな脊椎動物化石を見つけることはできなかったが、耶麻一塩原動物群を構成する二枚貝化石類や保存の良い生痕化石を見ることができた。総じて好評であったシンポジウムであるが、「日本の海棲哺乳類化石」と呼ぶには取りあげられた化石の産出地域が限定的であったので、今後これを補完するようなシンポジウムが開かれることを期待したい。

(村上 瑞季/写真 事務局 高桑)

>>> 第 146 回化石研究会例会のお知らせ <<<

2016(平成 28)年・秋(具体的日程は調整中です)

会場は「**滋賀県立琵琶湖博物館**」を予定しています。

詳細については決定次第、化石研ホームページ、ニュースでお知らせいたします。

>>> 事務局だより <<<

- 発行が遅くなってしまい、会員の皆様に心からお詫び申し上げます。
- 新入会員(2015.4~)・・・3名(村上瑞季、上村真優子、畠 誠)
- 村上瑞季会員には、さっそく喜多方市高郷での例会の参加報告を執筆していただきました。ありがとうございました。
- 会誌やニュースの送付先(ご自宅、勤務先)が変更となった際には、事務局までご一報ください。
- **間もなく、会誌を発送いたします。その際、ゆうちょ銀行の払込取扱票を同封しますので、「2016年度会費」の納入をお願いします。年会費は前納となっております。**

年会費 4000円(学生2000円) 郵便振替00100-7-633288 化石研究会

※ 納入状況は、会誌発送封筒の宛名ラベルでご確認ください。

2015年以前の会費が未納となっている方は、2016年分とあわせて納入してください。

3年間、会費未納の会員は**除籍**となります。

編集・発行：化石研究会事務局

〒370-2345 群馬県富岡市上黒岩 1674-1 群馬県立自然史博物館 高桑祐司気付

TEL: 0274-60-1200 / FAX: 0274-60-1250 / E-mail: BXJ04105@nifty.ne.jp

ホームページ <http://www.geocities.jp/tepkun/>

郵便振替口座 記号番号 00100-7-633288

名 称 化石研究会(カセキケンキュウカイ)

年会費 一般4000円(学生2000円)

この化石研ニュースは、上記の化石研究会のホームページでも見るすることができます。現在、紙でニュースが郵送されている方の中で、紙で送らなくても良い方は是非ご連絡ください。費用と労力の削減に御協力ください。